



卒業おめでとう!! 第29回生



第 93 号

編 集 発 行

愛知県立大府東高等学校 P T A

平成26年 2月28日 発行

第29回卒業生の皆さんへ



PTA会長

深谷正之

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。また、保護者の皆様には、卒業を迎えられたことを心よりお喜び申し上げます。思春期まっただ中の難しい年頃の我が子に、一喜一憂された三年間であつた事と思います。本当におめでとうございました。

『帰らぬ昨日を今日に生かし 今日反省を明日に生かさう』という言葉は、卒業生に贈りたいと思います。言葉の意味は、過ぎてしまった時間は戻らないが、行ったことは厳然として実績として残ります。失敗を反省することにより、そこから教訓を得て、明日へ飛躍の糧とすることです。

卒業する皆さんは、新しい環境での生活を迎えることとなりますが、取り巻く環境は決して楽観出来るものばかりではありません。多くの壁に阻まれ、目標や希望を見失うところもあると思いますが、高校生活で培ったことを思い起こし、歩みを止めることなく目標に強い心で立ち向かつて下さい。

最後になりますが、本校PTA活動に対して、多大なる御理解と御協力を頂きました会員の皆様、そして校長先生をはじめとする諸先生方に御礼申し上げます。ありがとうございました。

寛容の心を持って



校長

小野寺雄二

二十九回生の皆さん、卒業おめでとうございます。校訓「努力」を惜しまない姿勢が実を結び、卒業の栄誉を得られました。また今日まで温かく見守り、力強くご支援下さったご家族の方々にも深く敬意と感謝の意を表しますと共に重ねてお祝い申し上げます。

これからは、それぞれが選んだ道に進んでいくわけですが、労を惜しまない姿勢を忘れることなく、自分の人生を積極的に切り拓いていかれるよう期待をしています。

そして皆さんには、社会の一員として良い社会を創造していかねばならない使命もあります。グローバルな情報化の波に飲み込まれず、真の豊かさを実感できる社会を実現するためには、様々な体験を通して己の人格を磨き、洞察力を養い、互いに支え合って生きる「寛容の心」を持ち合わせる事が大切であると考えます。

卒業に際し、孔子の言葉を餞とします。一生涯を通して実践すること、それは「恕」です。「自分がされたくないことは、人にもしてはなりません。」皆さんの前途に幸多かれとお祈りしています。

贈る言葉

最後に贈ることば

第三学年主任 間瀬 紀穂

「人との交わり」

好きな人もあれば

嫌いな人もある

気の合う人もあれば

気の合わない人もある

いっしょに働きたくとも

働くことの叶わぬ人もある

いっしょに働きたくなくとも

働かなければならぬ人もある

会いたくとも

会ってはならぬ人もある

会いたくなくとも

会わねばならぬ人もある

誰とでも交わってみることだ

人皆兄弟であることがよくわかる

『自分の仕事』

自分の仕事を軽蔑する人は

その人自身も他人から軽蔑される

自分の仕事にたいして

ほこりとよろこびと感謝のない人が

よい仕事をしたということはない

自分の仕事を天職と信じて

仕事を大切にする人は

誰からも尊重される

他人から尊重されてこそ

よい仕事ができる

お互いの職場は

自分の仕事を尊重し

気くばりよく

大切に仕事をすすめていく

そんな人たちのあつまりでありたい

卒業おめでとうございます。

みんなへ

一組担任 久野 繁男

「嫌と言わず楽しんでやろう。」

「ウソはつかない。約束は守ろう。」

「挨拶は、しっかりとしよう。」

「自分がやられて嫌なことをしない。」

「自分が自分の子どもによく言うセリフで

す。

「ご飯はしっかりと食べる。」

「ママを困らせない。」

「出したものは自分で片付ける。」

私は君たちに、とくに自分のクラスの生徒には、自分の子どものように接してき

たつもりです。ときに優しく、ときに厳

しく。盛り上がるときには一緒に盛り上

がり、悔しがるときは一緒に悔しがる。

まだまだ幼い君たちに伝えたいことは沢

山ありますが、立派に巣立っていく姿を

想像すると、うれしいような悲しいよう

な複雑な気持ちです。これからも、それ

ぞれの場所で、いろんな経験をすること

でしょう。失敗を恐れず、面倒がらず、前向きにとらえて、さらなる成長をしてください。

最後に、私のモットーであり、クラスの皆にもよく聞いていた言葉を二十九回

生のみんなへ送ります。

『とことん楽しもう。辛いことでも、ど

うせやるなら、徹底的に楽しめ。』

贈る言葉

二組担任 山本有里子

卒業おめでとうございます。卒業式を

迎えて、今はどんな気持ちですか。「も

う卒業だ」「やつと卒業だ」「嬉しい」

「寂しい」と思いは様々でしょう。同じ

出来事のはずなのに、心の持ち方ひとつ

で同じものも違って見えるものです。

この三年間で経験した楽しかったこと

と、辛かったこと、嫌だったことも明日

になればいい思い出となっているでしょ

う。時には今までを振り返って自分を客

観的に見つめてみるのもいいのではと思

います。こんなことがあったなと友人と

笑いあえるのも楽しみですね。

卒業は「別れ」ですが、「別れ」があつ

てはじめて「出逢い」があります。皆さ

んと出逢って過ごしたこの一年間は私に

とって忘れられないものです。これから

先の新たな出逢いへ向かってどうか歩み

を止めないでください。そして今までお

世話になった人への感謝の気持ちを忘れ

ないでください。新たな目標へ向かって

今日この日をまた新たなスタートだと思

い、これから先の人生を切り開いていく

ことを願っています。

成長そして飛躍

三組担任 加藤 和彦

入学式にひどい髪型で登校し、その後

も度重なる指導を受けた人が今では次の

ステージでの活躍に希望を抱いている。

放課となればそこら中で騒いでいた人も

最後の体育祭では応援団長として学年を

統率し、秘めたるパワーを発揮してくれ

た。遅刻と欠席数は学年屈指、部活を辞

めたり、戻ったり、とにかく不安定だっ

た人や自分に甘く、厳しさから逃れがち

だった人が最後の大会ではチームを鼓舞

し、走り、体を張り、諦めずに戦ってく

れた。キャプテンという重圧に悩み苦し

んでいた人がそれを乗り越え、最後まで

高校サッカーに情熱を捧げ、後輩たちに

その存在の大きさを示してくれた。中学

時代は補欠だった選手が地道に練習を続

けレギュラーをつかみ、チームに欠かせ

ない選手になり、努力することの大切さ

を体現してくれた。他にもたくさんの人

が成長してくれました。

人生これからです。99%無理でも1%

の可能性に賭けてみる価値はあります。

さらなる飛躍を期待しています。

卒業おめでとう。

節目にあたって

四組担任 縣 和美

卒業おめでとう。みなさんは高校卒業という人生の節目を迎えています。今の気持ちとしては、寂しさよりも次のステップへの期待の方が大きいのではないのでしょうか。そして、今後もいくつもの節目を経て、それらを糧に大きな人間になつていくのだらうと思います。さあ、気持ち切り替えて、新たなステージへ向かいましょう。過去は心の支えにするものであつて、こだわるものではありません。人生嫌なことも多いけれど、楽しいことも多い。世界と触れあい「ずれ」を経験しなければ、脳は創造的にならない＝成長しないとか。(茂木さんが言っていましたね)多くのことを経験し、いくつもの節目を迎え、大きな人間になつてほしいと思います。

ちなみに、昨年六月、私も一つの節目を迎えました。四組のみんな、お祝いありがとう。毎週金曜日に使っています。この節目を迎えてもお、まだまだちっほけな人間のままであるのが残念なところ。大きな人間になるためには、あといくつの節目を迎えればよいのやら。

卒業生へ

五組担任 辻 明良

卒業おめでとう。ございます。みなさんが大府東高校に入学してから、三年とい

う月日が流れました。

僕は君たちに何かができたとはいまでも思いません。君達を育て、ここまで導いたのは間瀬先生をはじめ、入学した時からここまで君達と日々を共にした先生方です。君達のことを想いながら転勤されていった先生方です。だから君達は、その先生方を思い出しながら、胸を張って卒業してください。

五組のみなさん、この一年本当にあつたという間でした。一年前、はじめて教室に入ったときの何とも言えない緊張感は今でも忘れません。僕が不安だった以上に、君達も不安だったのでしょうか。でも、無事に今日という日を迎えることができました。本当に感謝しています。

卒業生のみなさん、これから先、多くのことが君達を待っています。苦しいことやつらいことも多く待っています。でも、自分の選んだ道、自分の選択に胸を張り、「これでよかった」と思える人になつてください。

自分を信じて、突っ走れ!

六組担任 前田 昌美

私は三年前、大府東高校にきました。

みんなの印象は、素直ですくすく育った感じ、ちよつと構えた感じの生徒もけっこう人なつっこい。今日、うちに帰ったちの小さいころの写真を見てみよう。君たちの横には、十数年前の若かりし頃のお

父さん、お母さん、保護者の方々が、

とつても嬉しそうな顔をして、君たちをだっこしたり、おんぶしたりしている写真があるよ。かわいがられて育てられたんだなーと思います。

みんなと三年間過ごした毎日は私にとつても大切な日々でした。みんなに伝えたいことは、山ほどあつたけど、授業は進めなくてはいけないし、STは短すぎるし、LTはやるべきがあり、あらたまって話す時間もなくて、あまり伝えられなかったのが心残り。それでここで、一気に書いてみます。「お、集中して黙々と勉強する姿、きりつとしていいな。」「ちよつと自信がないのかな?やればもつとできるのに。」「楽しちゃだめだよ。限界を体験して一周りおおくくなるよ。」「すごいな、やればできるじゃない」「三年になつてグンと成長したね。」

「体育祭、必死な姿がかっこいい!」「けつこう、芸達者が多いのね、修学旅行の余興、文化祭の有志とても楽しかったよ。」「英語の授業大きな声で読んで、楽しくペーパー活動、英語教師つて楽しいわ!」最後に卒業するみんなへ「自分を信じて、突っ走れ!」卒業おめでとう。

卒業生へ

一組副担任 新海 太郎

卒業おめでとう。ございます。がんばつたね。高校最後の一年を一緒に過ごせたのは光栄でした。はじめて顔を合せた四月、みんな殊勝な(まじめな)顔つきばかりしていたから、つつきりそういうものが続くのだと思っていました。そんなことなかったね。続いて三日くらいだったね。すぐに打ち解けて、冗談の応酬が繰り広げられたし。文化祭でやったSMAPIじゃないけれど、「ムダなことを一緒にしようよ」というのが『JOY!!』の魔法だから、ハリボテ以上に魔法だらけの学年でした。その調子で卒業後も世界中に素敵な魔法を振りまいて下さい!

卒業生のみなさんへ

三組副担任 杉山久美子

ご卒業おめでとう。ございます。

私自身は高校を卒業して十年以上経ちますが、高校の頃の友人とは、今でも付き合っています。高校生の間に得た友人、知識、技能は一生ものです。ずっと大切にしてください。

今、みなさんは自分の夢に向かって飛び立とうとしているところですが、この先、思うようにいかない困難に遭遇するかも知れません。違う夢を持つようになるかも知れません。迷うこと、悩むことも良い経験です。少し休んでもいいんで



す。何年か先に、誇れる自分でいられるよう、陰ながら応援しています！

卒業生へ

四組副担任 竹内 友英

ご卒業おめでとうございます。

大府東高等学校の卒業生としての誇りを持って邁進してください。良き日本の伝統を継承し、日本人であることの誇りを持ちましょう。

卒業生の皆様、本日はぜひ保護者の方やお世話になった方々に「感謝」の気持ちを自分の言葉で伝えてください。一度しかない人生を楽しく有意義なものにしてください。

想い出をありがとうございます。

諸君の輝かしい未来に乾杯。

本当の勉強

五組副担任 齋藤久美子

ご卒業おめでとうございます。

さて勉強って「教室で先生に教えてもらうもの」と思っていますか？学校を終えたら勉強は終わりではありません。私は本当の勉強は生活に密着したものだと思っています。限られたお給料で一ヶ月うまく生活していくことは数学を使う経済学だし、自分の健康を考えて献立を決めることは家庭科や生物に通じています。

よく考え学ぶことは自分の生活を豊かにします。これからが本当の勉強です。がんばってください！

卒業生へ

六組副担任 山本 孝次

パキスタンの少女マララ・ユスフザイさんは、七月十二日、十六歳の誕生日に国連で言った。一人の子ども、一人の教師、一冊の本、一本のペンから世界を変えられると。

二十七年間の監獄生活の後に南アフリカの大統領となったネルソン・マンデラさんは言った。生きるうえで最も偉大な栄光は、決して転ばないことにあるのではない。転ぶたびに起き上がり続けることにあるのだと。

革新的な万能細胞を開発した小保方晴子さんは言った。何度もやめようと思っただけれど、あと一日だけがんばろうと続けてきて、いつの間にか今日に至ったと。

君はいつ何を語るのか。楽しみである。



卒業、おめでとう

六組副担任 加藤 稔明

皆さんと先生方に助けられた日々の連続で、感謝の言葉しかありません。

さて、新しい生活のスタートです。更なる向上心を胸に、労を惜しまず、努力を積み重ねて、前へ進みましょう。

三つの言葉を贈ります。

感謝、「ありがとうございます。」

お互いの心を豊かにする言葉です。努力、「自身と未来は変えられる。」

想いは力を、努力は道を与えます。

成長、「ピンチはチャンス。」

窮地は自分自身を成長させる機会です。

卒業生へ

六組副担任 山田 和史

卒業おめでとう。

物理では現象を明確にとらえるために、作図がとても大切だと教えてきましたね。問題を解くための作図でした。今度は、諸君には未来を明確に意識するための作図が必要となってきます。

人生の作図です。自分の夢を大きく描いてください。そして、実現のために何度も何度も書きなおしてください。幸多かれと祈る。



国際交流部

平成二十六年二月二日に大府市役所に「国際交流デー・オーストラリアとの出会い」という催しが開かれました。

大府市とポートフィリップ市が姉妹都市になって今年で二〇周年になりますが、その記念のイベントです。

大府東高校からも今までに姉妹校のエルウッド校からいただいた記念品の数々を展示して、このイベントに参加させていただきました。

大府市に比べて一足早く、大府東高校は平成十八年にはエルウッド校との姉妹校二〇周年の式典を行いました。今回の国際交流デーには、その当時の写真や、その時にエルウッド校からいただいた記念品の置物なども展示しました。

他にも絵画や置物の類、また平成二十四年、二十五年の交流の写真や生徒の報告なども展示されました。



在校生代表

先輩方との関わりを通じて

後期生徒会長 長谷川朋未

私は一年半の間、先輩方の部活動での姿を見てきて、とても憧れていました。

私たちが部活動に入っただけ、一年生で集まって基礎の練習をしていると、少し離れた所で先輩方が本格的な練習をしていて、その真剣な姿がとてまかつこよく思えました。私はいつも先輩方の姿を見て、自分も二年生になれば先輩方のようなになれるかなと思いつながら練習していました。また、先輩方が私たちの練習を見てくださいる時には、具体的なアドバイスをしてくださったり、実際にお手本を見せていただけるのが、とても嬉しく、練習に対する意欲も湧き、積極的に取り組むことができました。

このように、先輩方から教わったことは、たくさんあるので、私も何かを伝えることができるように、これからは真剣に部活動に取り組んでいきたいと思っています。



卒業にあたって

心のアルバム

三年一組 川口 衣織

私の高校生活は、あつという間に終わりを迎えるようになっています。友達とふざけて笑い合ったり、授業を真面目に受けて勉強に励んだり、部活動も仲間たちと一緒に日々頑張ってきました。そのような充実した毎日が一瞬にして、風のように通っていった気がします。しかし、私の過ごした大府東高校での三年間は、胸を張って「すばらしかった」と言えます。楽しい事や辛い事も、すべての思い出が、誰にも負けないほどの素敵なアルバムとなりました。

みんな、ありがとう。

三年二組 小笠原理磨

三年二組は平和で賑やかなクラスでした。みんなと高校最後というたくさんの方の行事に取り組んで楽しかったです。先生方には進路のことで大変お世話になりました。部活動は個性が強くてぶつかり合うこともありましたが、しかし、みんなとバドミントンができてよかったです。三年間はあつという間で良い思い出も悪い思い出もありましたが、たくさんの方の仲間に出会えて一緒に過ごせてよかったです。先生方、クラス全員、部活動の先輩、後輩、みんなに支えてもらったことに感謝。ありがとうございました。

三年間、サンキュー

三年三組 三苦 百華

振り返ると、自分は「青春」というものと、ちゃんと向きあえたのだろうか。入学して友達ができ、たくさんのお出迎えがあった。でも、そんな平凡な毎日がキラキラな時期もあった。何回この学校を辞めたいと思ったことか。だけれども、そんなことを忘れさせてくれる周りの友達に私は一番感謝したいと思う。私を支えてくれた人たち全員に「ありがとう。」を伝えたい。今だからこそ大府東高校に入学できたこと、みんなに出会えたこと、心からよかったです。

生徒会をやってみて

三年四組 久松華蒼月

私は二年生の前期、後期、三年生の前期と三期にわたって生徒会役員を務めました。初めは興味半分でしたけれども、球技大会や大東祭の準備で学校に遅くまで残ったり、いろいろな先生と話すようになったり、今思えばとても楽しかったです。特に、後輩と仲良くなれたことが嬉しかったです。

三年間を振り返って

三年五組 福田 真也

高校に入学して、いろいろなことがあった。副室長に部活動に生徒会。やはり一番に思い出すのは部活動のこと。朝九時から夜八時までやったこともあった。辛いこともあったけれども、楽しい事の方が多かった。それも、先輩や後輩、顧問の先生、そして何より、同輩たちのおかげだ。至らない部長でたくさん迷惑をかけたけれど、ついてきてくれてありがとう。私は、幸せ者でした。この三年間は、私を成長させてくれた。重要で有意義な三年間だったのでないだろうか。

思い出を糧に

三年六組 山本 麻湖

三年間、暑い日も寒い日も、毎日必死に自転車こいだ坂道。いつも騒がしい三年六組の教室。笑顔と音色であふれる音楽室。「すべてが思い出に変わってしまうんだなあ。」と考えると、とても寂しく思います。理系クラスのみんな、吹奏楽部員、そして、支えてくれた家族、先生方には感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとう。

中学校では、経験したことのない生徒会活動に取り組んだことで、学校行事に對して別の楽しみ方ができたと思います。生徒会以外でも、三年間を通してたくさんの友達ができて、とても楽しい高校生活を送れて本当によかったです。

大府東高校での思い出と出逢いを糧に、自分の選んだ道を一步一步確実に歩んでいきたいと思っています。

おめでとう!!
第二十九回生表彰者

冬青賞

尾山 祥隆

スポーツ賞

伊藤 杏奈

尾山 祥隆

三か年皆勤賞

- 川口 衣織
- 鴻上千由紀
- 角田はるか
- 伊藤 大登
- 鈴木 拓也
- 諏訪 景太
- 田中 翔
- 柴田 優紀
- 小久保 隼
- 中村 好太
- 杉山 由記
- 叶田 涉
- 熊澤 友太
- 新川 智希
- 竹内 健
- 東村 和志
- 山元 優
- 大嶋乃倫恵
- 野村 茉由
- 藤橋 美羽
- 加古 祥太
- 工藤 雄介
- 渡部 公貴
- 伊藤 沙莉
- 河西 愛理
- 林 幸奈
- 福田 真也
- 梶原 嘉人
- 平林 和晃
- 深谷 基貴
- 水野 哲蒼
- 南野 卓巳
- 森 貴洋
- 山下 耕大
- 若松 佑真
- 二月十五日現在

平成25年度 部活動試合結果 (11月~2月)

サッカー	<愛知県高等学校新人体育大会知多支部予選> 1回戦 3-0 東海商 準決勝リーグ 3-0 横須賀、2-0 常滑、2-1 大府 代表決定 ①2-2 知多翔洋pk5-4 ②1-1 阿久比pk2-4 (第2位)	県大会出場
柔道	<愛知県高等学校新人体育大会知多支部予選> 男子団体 予選リーグ 0×5人残し ○ 半田農業、○1×0 東浦 決勝トーナメント 1回戦 0×5 ○ 知多翔洋 男子個人 石塚 (第2位) 堀江 1回戦敗退 女子個人 松島 1回戦敗退 < 同 県大会 > 男子個人 石塚 2回戦敗退 堀江 1回戦敗退	県大会
ソフトテニス (女子)	<愛知県高等学校新人体育大会> 個人 上田・小野組 1回戦敗退	県大会
バスケットボール(男子)	<第44回全国高等学校バスケットボール選抜優勝大会> 1回戦 92-53 春日井東、2回戦 76-67 春日井西、3回戦 102-69 豊橋東 二次トーナメント 4回戦 64-63 起工業、5回戦 35-153 愛産大工業 県ベスト16 <愛知県高等学校新人体育大会知多支部予選> 1回戦 89-58 半田、2回戦 78-58 大府 準決勝 77-62 知多翔洋、決勝 60-67 横須賀 (第2位) < 同 県大会 > 1回戦 65-96 愛産大三河	県大会 県大会出場
バスケットボール(女子)	<第44回全国高等学校バスケットボール選抜優勝大会> 1回戦 84-42 愛み大瑞穂、2回戦 85-32 東郷 3回戦 68-51 半田商業 二次トーナメント 52-65 聖霊 <愛知県高等学校新人体育大会知多支部予選> 1回戦 72-34 東浦、2回戦 72-19 東海南 準決勝 65-41 常滑、決勝 54-61 大府 (第2位) < 同 県大会 > 1回戦 55-74 国府	県大会 県大会出場
バレーボール (女子)	<愛知県高等学校新人体育大会知多支部予選> 1回戦 0-2 阿久比	
バドミントン (男子)	<愛知県高等学校学年別大会> ダブルス 角谷・千葉組 5回戦敗退 ベスト32、石橋・太田組 4回戦敗退 ベスト64	県大会
バドミントン (女子)	<愛知県高等学校学年別大会> ダブルス 浅井・西脇、伊藤・深谷組 4回戦敗退 シングルス 西脇 4回戦敗退	県大会
卓球	<知多地区高等学校1・2年生卓球大会> 男子シングルス 土屋・浅野 3回戦敗退 ベスト64 2名 2回戦敗退、6名 1回戦敗退 <知多地区高等学校卓球大会> 男子シングルス 浅野 4回戦敗退、杉山 ベスト32 1名 3回戦敗退、2名 2回戦敗退、4名 1回戦敗退 男子ダブルス 2組 2回戦敗退、2組 1回戦敗退	